

出前講座報告書

実施日時	2025年9月19日 10:00～11:30	主催者名	津軽保健生活協同組合和徳支部
講師名	高松利昌	会場名	津軽保健生活協同組合 生協会館2F
テーマ	医療制度をめぐる情勢について		
参加人数	7人	報告者	高松利昌

【講座内容】

問題提起

・医療崩壊の現状

地方病院の閉鎖、医師不足、救急医療の機能不全など、医療提供体制が限界に近づいている。

・制度的な歪み

医療費抑制政策や診療報酬の引き下げが、医療現場の疲弊を招いている。

・医療従事者の負担

長時間労働、過重な責任、待遇の不均衡などが医師・看護師の離職を加速。

・医療機関と地域

地域医療の担い手である中小病院の減少傾向。高齢化による医療需要の増加と、それに追いつかない供給体制。医師の都市部集中と地方の医師不足。

・対策案

医療制度の再設計 地域医療を守るための財政支援や制度改革の必要性。医療従事者の待遇改善 働き方改革と報酬体系の見直しによる人材確保。国民の理解と協力 医療資源の適正利用や、予防医療の推進による負担軽減。

まとめ

医療機関の倒産や健康保険制度の崩壊、政府による個人情報監視体制の強化、公的支援の縮小と自己責任の強調、低所得者層への支援不足、民主主義の形骸化、物価高と実質賃金・年金の低下など、私たちの生活と命を誰が守るのか、参院選の結果を受けて日本の未来をどう守るかが問われている。

【質問等】

・医療機関が支払う消費税はなしにすれば良い。

<気づいたことや今後の教訓など>

